

科目	ビジネス情報	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	タッチタイピングのスキルアップ、ビジネス文書の作成と編集、パソコンやネットワーク等の知識を学ぶ。 Wordによって基本的なビジネス文書の作成と編集をいかに効率良く行うかを学ぶ。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本商工会議所の日商PC検定「文書作成」3級の全員の合格を達成し、必要に応じて効率よくビジネス文書を作成できる。</li> <li>・企業実務に必要とされる基本的なIT・ネットワークの知識、スキルを身につけ、業務に利活用することができる。</li> </ul>		
学修成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイピングの習熟度を測るために、定期的にタッチタイピング進捗記録のレポート提出で評価する。</li> <li>・到達目標の達成度を測るために、授業内課題のデータ提出の完成度により評価する。</li> <li>・本試験は、知識試験が15分、実技試験が30分となっており、実技、知識共に70%以上の正解率で合格となる。</li> </ul>		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	文字入力スピードと正確さを確認 情報処理各分野に「共通」の知識 ・ハードウェア・ソフトウェア、ネットワーク	予習：タイプクイックの記録(30分) 復習：授業で解いた問題の解説を読み再解答(30分)	
2.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・ネット社会における企業実務、ビジネススタイル	予習：知識問題の不明点を書き出す(30分) 復習：授業で解いた問題の解説を読み再解答(30分)	
3.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・電子データ、電子コミュニケーションの特徴と留意点	予習：知識問題の不明点を書き出す(30分) 復習：授業で解いた問題の解説を読み再解答(30分)	
4.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・デジタル情報、電子化資料の整理・管理	予習：知識問題の不明点を書き出す(30分) 復習：授業で解いた問題の解説を読み再解答(30分)	
5.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・電子メール、ホームページの特徴と仕組み	予習：知識問題の不明点を書き出す(30分) 復習：授業で解いた問題の解説を読み再解答(30分)	
6.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・情報セキュリティ、コンプライアンスに関する基本的な知識	予習：知識問題の不明点を書き出す(30分) 復習：授業で解いた問題の解説を読み再解答(30分)	
7.	「文書作成」3級レベルの知識 ・社内、社外文書の種類と雛型 ・文書管理(ファイリング、共有化、再利用)	予習：知識問題の不明点を書き出す(30分) 復習：授業で解いた問題の解説を読み再解答(30分)	
8.	「文書作成」3級レベルの知識 ・ビジネス文書作成上の日本語力(文法、表現法、他) ・文書表現、文書校正の基本、文書関連のビジネスマナー	予習：知識問題の不明点を書き出す(30分) 復習：授業で解いた問題の解説を読み再解答(30分)	
9.	「文書作成」3級レベルの知識 ・ビジネス文書作成上の日本語力(文法、表現法、他) ・文書表現、文書校正の基本、文書関連のビジネスマナー	予習：知識問題の不明点を調べる(30分) 復習：授業での不正解問題の解説を読み再解答(30分)	
10.	模擬試験演習 1 ・知識問題「共通」全問解答練習 ・知識問題「文書作成」全問解答練習	予習：不正解問題を調べる(30分) 復習：授業での不正解問題の解説を読み再解答(30分)	
11.	模擬試験演習 2 ・知識問題「共通」全問解答練習 ・知識問題「文書作成」全問解答練習	予習：不正解問題を調べる(30分) 復習：授業での不正解問題の解説を読み再解答(30分)	
12.	模擬試験演習 3 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習：不正解問題を調べる(30分) 復習：授業での不正解問題の解説を読み再解答(30分)	
13.	模擬試験演習 4 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習：不正解問題を調べる(30分) 復習：授業での不正解問題の解説を読み再解答(30分)	
14.	模擬試験演習 5 アンケート調査 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習：不正解問題を調べる(30分) 復習：授業での不正解問題の解説を読み再解答(30分)	
15.	模擬試験演習 6 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習：不正解問題を調べる(30分) 復習：授業での不正解問題の解説を読み再解答(30分)	
教科書	『よくわかるマスター 日商PC検定 文書作成 3級』(FOM出版)、 『よくわかるマスター 改訂版 日商PC検定 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成 3級 知識科目 公式問題集』(FOM出版) タイプクイック USB版		
参考書	特になし		
学修成果の評価方法	受講態度(20%)、授業内課題(40%)、模擬問題(40%)		
特記すべき事項	タイピングは日々自分自身で記録し習熟度を把握し更に記録を伸ばすよう努めること。 知識問題も実技問題も、教科書を繰り返し解くことで合格につながります。		
質問・相談等の受付	授業期間中は、授業時間の前後でも受け付けます。		

科 目	ビジネス情報	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<p>情報処理で学習した、表計算ソフトの技能をさらに高め、就職に役立つよう表計算検定試験の合格を目指す。練習問題を数多くこなし、問題に応じてポイントを詳しく解説していく。また、知識試験の対策も併せて行い、表計算ソフト全般に関する技能・知識を深める。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(2)に対応する。</p>		
到達目標	<p>Excelの検定試験に合格する。 検定試験に合格できるよう、Excelの各種機能を使いこなせるようになる。</p>		
学修成果の評価基準	Excel検定試験対策問題 Excel検定試験		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	ワークシート間の連携	予習：配布プリント(30分) 復習：授業内容の再実行(30分)	
2 .	日付・時間関数	予習：配布プリント(30分) 復習：授業内容の再実行(30分)	
3 .	検索/行列関数	予習：配布プリント(30分) 復習：授業内容の再実行(30分)	
4 .	ピボットテーブル	予習：配布プリント(30分) 復習：授業内容の再実行(30分)	
5 .	マクロ	予習：配布プリント(30分) 復習：授業内容の再実行(30分)	
6 .	知識試験対策1	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
7 .	実技試験対策1	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
8 .	知識試験対策2	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
9 .	実技試験対策2	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
10 .	知識試験対策3	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
11 .	実技試験対策3	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
12 .	模擬試験演習1	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
13 .	模擬試験演習2	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
14 .	模擬試験演習3	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
15 .	模擬試験演習4	予習：配布プリント(30分) 復習：結果の確認と弱点对策(30分)	
教科書	『デジタル問題集』(サーティファイ)		
参考書			
学修成果の評価方法	授業内課題(50%)、検定試験受験(50%) 授業内課題はチェックしてフィードバックします。		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付	随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		

科目	情報ネットワーク演習	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	情報サービスの内、データベース等電子媒体情報のサービスをとりあげる。データベースの仕組みから、実際の各種データベースからの情報検索の実際までを、演習形式で学習する。 本授業は、情報デザインコースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	ネットワークやデータベースについて理解する。 ネットワークを通じて適切な情報を収集し提供できるようになる。 司書として情報サービスを理解する。		
学修成果の評価基準	シソーラスを作成して理解できているかチェックする。 データベースの種類や機能、検索技法を検索課題で問う。 課題の検索技法とその結果を発表し、評価し合う。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	インターネットの仕組み	予習：授業概要の理解(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
2.	ネットワーク接続の構成	予習：配布プリント(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
3.	ポータルサイトの活用	予習：配布プリント(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
4.	情報検索の基礎	予習：教科書p3～7(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
5.	サーチエンジンを用いた検索	予習：教科書p7～21(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
6.	検索とキーワード	予習：教科書p22～39(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
7.	検索の手順	予習：教科書p40～50(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
8.	検索式の作成	予習：教科書p50～58(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
9.	人物略歴情報の検索演習	予習：教科書p66～79(30分) 復習：演習課題(30分)	
10.	雑誌記事情報の検索演習	予習：教科書p80～85(30分) 復習：演習課題(30分)	
11.	図書内容情報の検索演習	予習：教科書p86～92(30分) 復習：演習課題(30分)	
12.	新聞記事情報の検索演習	予習：教科書p93～96(30分) 復習：演習課題(30分)	
13.	NDL ONLINEの検索	予習：配布プリント(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
14.	Ciniiの検索	予習：配布プリント(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
15.	情報検索の評価とまとめ	予習：教科書p20～22(30分) 復習：授業内容のふりかえり(30分)	
教科書	『WEBで学ぶ情報検索の演習と解説』(日外アソシエーツ)		
参考書			
学修成果の評価方法	授業内課題(50%)、授業内発表(50%)		
特記すべき事項	司書資格必修		
質問・相談等の受付	随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		

科目	情報文化史	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	<p>情報は文字の歴史、書物の歴史、図書館の歴史でもある。伝統的なメディアから、マルチメディア、インターネットにいたる情報媒体や情報社会を形作ってきた事物の生成・歴史など文化的背景をふまえながら学ぶ。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(1)に対応する。</p>		
到達目標	図書館や本、情報の歴史について理解し、情報の未来について考える能力を身につけることができる。		
学修成果の評価基準	到達目標に明示している、図書館、本、情報の歴史を理解しそれらの未来について課題やレポートで述べるができる。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	生命の歴史	予習：生命の歴史について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
2.	人類の歴史	予習：人類の歴史について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
3.	人類史の位置づけ	予習：人類とはいかなる存在か考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
4.	古代の図書館(1)	予習：四大文明と文字の誕生について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
5.	古代の図書館(2)	予習：図書館の誕生について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
6.	中世の図書館(1)	予習：修道院の役割について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
7.	中世の図書館(2)	予習：移動図書館の誕生、十字軍について(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
8.	グーテンベルク革命(1)	予習：ルネサンス期の司書の役割を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
9.	グーテンベルク革命(2)	予習：活版印刷術・宗教改革について(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
10.	アメリカの図書館(1)	予習：会員制図書館や公共図書館誕生について(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
11.	アメリカの図書館(2)	予習：分類法やアメリカの図書館について(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
12.	図書館の現在と未来(1)	予習：電子図書館について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
13.	図書館の現在と未来(2)	予習：知的遺産の保存と書物の電子化について(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
14.	情報通信の歴史	予習：情報通信の歴史について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
15.	まとめ	予習：今までの学びを振り返る(2時間)復習：今までの授業を振り返る(2時間)	
教科書	『本と図書館の歴史』モーリン・サワほか(西村書店)		
参考書			
学修成果の評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(20%)、レポート(50%)		
特記すべき事項	担当者は司書として17年の実務経験を有しています。		
質問・相談等の受付	質問、相談については授業後に授業場所もしくは研究室にて受け付ける。		

科 目	地域情報特論	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	古賀正美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	居住地域における情報を身に付け、図書館資料としての地域情報を利用者に提供できる知識と手法を学ぶとともに、利用者と資料を結ぶための基本知識を習得する。他地域でも援用できる方法を提供する。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(1)に対応する。		
到達目標	「地域サービス論」で学んだ内容を深く学習し、発展的な知識を身に付け、理解を深める観点から図書館情報資料に関する領域を広め、図書館人として多方面の情報に精通する手法を獲得する。		
学修成果の評価基準	定期試験で講義内容の70%以上について解答できる。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	地域文化の特徴を知る(古墳文化を中心に)	予習: 地域の市町村史を確認する(2時間) 復習: 授業と予習の再確認をする(2時間)	
2 .	地域文化を実際に見学する(石人山古墳)	予習: 古墳文化を調べ(2時間) 復習: 古墳文化への理解を深める(2時間)	
3 .	地域の石造遺物について	予習: 寺社にある石造遺物を調べ(2時間) 復習: 新たな知見を整理する(2時間)	
4 .	古代・中世の地蔵信仰	予習: お地蔵さんとを調べる(2時間) 復習: 講義の内容を確認する(2時間)	
5 .	筑後の方言(古文書に出て来る方言)	予習: 自分の方言を確認する(2時間) 復習: 方言が地域遺産である事を確認する(2時間)	
6 .	江戸時代の農村を考える	予習: 出身地は江戸時代何村だったか調べる(2時間) 復習として村の変化を確認する(2時間)	
7 .	江戸時代の山野について	予習: 江戸時代の山野を調べる(2時間) 復習: 予習内容の違いを確認する作業を行う(2時間)	
8 .	伝統的建造物保存地区について	予習: 九州の伝建地区を調べる(2時間程) 復習: 伝建地区の活用例を学ぶ(2時間)	
9 .	城下町に暮らす	予習: 城下町を知る(2時間) 復習: 城下町に住む人々への理解を深める。(2時間)	
10 .	古文書について考える	予習: 古文書を調べる(2時間) 復習: 講義の内容から、理解を深める(2時間)	
11 .	古文書を読んで村の神仏を考える	予習: 地元の神仏を調べる(2時間) 復習: 講義から神仏への理解を深める(2時間)	
12 .	クスノキ(樟)について	予習: 樹木である樟を2時間程調べ、復習: 講義の内容の深化を行う(2時間)。	
13 .	カササギ(鵲)について	予習: この鳥を調べる(2時間) 復習: この鳥の渡來說・持込説を確認する(2時間)	
14 .	鬼と権現について	予習: 鬼・権現について調べる(2時間) 復習: 講義の内容を確認する(2時間)	
15 .	篠原正一著「筑後の年中行事」を読む。	予習: 消えた年中行事を調べる(2時間) 復習: 新たな年中行事を確認する(2時間)	
教科書	なし。毎回講義資料のプリントを配布する		
参考書	なし。講義のなかで、関連図書を紹介する。		
学修成果の評価方法	定期試験の得点を成績とするが、欠席及び遅刻が多い場合は成績評価に影響する。		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付	授業中でも授業終了後でも質問、相談を受け付ける。		

科 目	生涯学習概論	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	溝内亮佑	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	本授業では、現代における「社会教育／生涯学習」に関する理論を、地域における教育（場所）／成人に対する教育（対象）の両面から学びます。 本授業は、情報デザインコースの学修成果（7）に対応します。		
到達目標	社会教育／生涯学習が社会の中で持つ意義を理解し、社会構造の様々な位置にいる人の思いや価値観を受け止めることができる。		
学修成果の 評価基準	社会教育／生涯学習に対する理解を定期テストおよび毎回授業後のリアクション・ペーパーにて評価する。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	オリエンテーション	予習：シラバス確認（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
2 .	社会教育／生涯学習の対象・場所	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
3 .	「夜間中学」映像（前）	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
4 .	「夜間中学」映像（後）	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
5 .	識字教育の国際的な取り組み	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
6 .	韓国識字教育との比較	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
7 .	中間ディスカッション	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
8 .	地元学について	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
9 .	福岡市公民館の実践について	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
10 .	離島の生涯学習について	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
11 .	「地元の若者」と生涯学習	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
12 .	「地元の若者」を取りまく問題提起	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
13 .	若者支援の事例（1）	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
14 .	若者支援の事例（2）	予習：配布課題を学習する（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
15 .	最終ディスカッション	予習：文献資料の購読（2時間） 復習：配布資料の振り返り（2時間）	
教科書	なし		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（20％）、リアクション・ペーパー（20％）、定期試験（60％）		
特記すべき 事項	各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の受付	メールでの相談も受け付けます。（アドレスは授業中に提示）		

科目	図書館制度・経営論	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	原章	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	<p>図書館の関連領域の法規や図書館の制度・政策・経営を学ぶことねらいとする。          自らの考えをグループ内、クラス全体で交流することで自分の考えの広がりや深まりを実感させる。          毎時間実施するグループ内での話し合いを通じてコミュニケーション能力を高めさせる。          本授業は、情報デザインコースの学修成果(1)に対応する。</p>		
到達目標	<p>図書館関連の法規について学びあい学習を実施することで法的な内容を確かなものにする。          図書館の組織や職員、施設・設備について学びあい学習をすることで確かなものとする。          図書館のサービスの在り方や管理形態について学びあい学習をすることで確かなものとする。          グループ内での話し合いを通じてコミュニケーション能力の高まりを確かなものにする。</p>		
学修成果の評価基準	<p>図書館関連の法規について、意見交換をふまえて内容理解ができているか。          図書館の組織、職員、施設・設備について、意見交換をふまえて内容理解ができているか。          図書館のサービスの在り方や管理形態について、意見交換をふまえて内容理解ができているか。          毎回の発表や話し合いを通じてコミュニケーション能力が高まっているか。</p>		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	本講座のガイダンス・テキストの説明及び授業展開の説明 図書館をめぐる法体系	予習：履修の理由(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
2.	図書館法逐条解説(1)総則	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
3.	図書館法逐条解説(2)公立図書館および私立図書館	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
4.	地方自治体の図書館関連条例など	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
5.	他館種の図書館に関する法律など	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
6.	図書館サービス関連法規	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
7.	図書館政策(国、地方自治体)	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
8.	公共機関・施設の経営方法と図書館経営	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
9.	図書館の組織・職員(1)	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
10.	図書館の組織・職員(2)	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
11.	図書館の施設・設備	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
12.	図書館のサービス計画と予算の確保	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
13.	図書館業務/サービスの調査と評価	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
14.	図書館の管理形態の多様化	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
15.	展望	予習：次時の内容を読む(2時間) 復習：学修プリントで振り返る(2時間)	
教科書	『図書館制度・経営論』第2版 手嶋孝典編(学文社)		
参考書			
学修成果の評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(15%)、定期試験(45%)、授業内発表(10%)		
特記すべき事項	中学校の国語科教師としてのキャリアと公共図書館長としての実務経験を講義のなかで示していく。 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科 目	図書館情報技術論	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	図書館業務に必要な、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク等基礎的な情報技術を修得する。また、インターネットの仕組みやそれを通じた情報発信の方法を修得するとともに、セキュリティも合わせて学ぶ。本授業は、情報デザインコースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	図書館で活用されている様々な情報技術について理解し、使いこなすための知識を修得する。 図書館に限らず、現代社会を支えている情報技術について理解する。		
学修成果の 評価基準	授業内に単元ごとの理解度チェックを行う 定期試験で、図書館に関する情報技術について問う		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	図書館における情報技術の変遷	予習：教科書p1～16(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
2 .	図書館における情報機器の役割と実際	予習：教科書p17～35(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
3 .	コンピュータの仕組みとその歴史	予習：教科書p36～48(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
4 .	インターネットの仕組みとその歴史	予習：教科書p49～6(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
5 .	検索システム	予習：教科書p62～74(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
6 .	データベース	予習：教科書p75～92(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
7 .	検索エンジン	予習：教科書p93～105(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
8 .	インターネット上の情報発信(1)	予習：教科書p106～118(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
9 .	インターネット上の情報発信(2)	予習：教科書p119～129(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
10 .	プログラミング	予習：教科書p130～142(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
11 .	電子資料の管理	予習：教科書p143～157(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
12 .	デジタルアーカイブ	予習：教科書p158～173(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
13 .	ITガバナンス	予習：教科書p174～187(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
14 .	ITマネジメント	予習：教科書p188～203(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
15 .	最新の情報技術と図書館	予習：教科書p204～226(2時間) 復習：授業内容のふりかえり(2時間)	
教科書	『図書館情報技術論』第2版 塩崎亮(ミネルヴァ書房)		
参考書			
学修成果の 評価方法	授業内課題(30%)、期末試験(70%)		
特記すべき 事項	司書資格必修		
質問・相談等 の 受 付	随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		

科 目	児童サービス論	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	児童の発達状況と読書の役割を理解し、年齢層別サービスを実践する能力を習得する。児童サービスにとって「言葉」の重要性を情報資料を元に学ぶ。児童と情報資料を結びつける手法を実践を兼ねて学ぶ。 本授業は、情報デザインコースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	司書として児童の発達状況と読書の役割を理解し、年齢層別サービスを実践する能力を習得できるようになる。児童と情報資料を結びつける手法、ブックトークなどを習得できるようになる。児童サービスについての課題を発見することができる。		
学修成果の 評価基準	到達目標に明示している、児童の発達状況と年齢層別サービス、児童と情報資料を結びつける手法の達成度を測るために、到達度確認テスト(期末レポート)を実施し評価する。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	児童サービスの意義と基本について	予習：児童サービスについて考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
2 .	児童サービスの歴史	予習：児童サービスの歴史について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
3 .	児童サービスの種類と内容(1)	予習：児童サービスの種類について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
4 .	児童サービスの種類と内容(2)	予習：児童サービスの種類について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
5 .	児童サービスの管理・運営	予習：児童サービスの管理・運営を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
6 .	児童資料の種類と特性	予習：児童資料の種類と特性について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
7 .	乳幼児サービス	予習：乳幼児サービスについて考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
8 .	ヤングアダルトサービス	予習：ヤングアダルトサービスについて考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
9 .	学校図書館へのサービス	予習：学校図書館のサービスについて考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
10 .	地域と公共図書館	予習：地域と公共図書館の連携について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
11 .	児童サービスの課題と展望	予習：今後の児童サービスについて考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
12 .	児童と本を結びつける手法(1)	予習：ブックトークで紹介する本を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
13 .	児童と本を結びつける手法(2)	予習：ブックトークで紹介する本を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
14 .	児童と本を結びつける手法(3)	予習：児童と本を結びつける手法を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
15 .	児童と本を結びつける手法(4)	予習：児童と本を結びつける手法を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
教科書	『児童サービス論』現代図書館情報学シリーズ6 高山正也ほか(樹村房)、『図書館情報学基礎資料』今まどりほか(樹村房)		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	受講態度(10%)、小テスト(30%)、定期試験(60%)		
特記すべき 事項	担当者は司書として17年の実務経験を有しています。		
質問・相談等 の受付	質問、相談については、授業後に授業場所もしくは研究室にて受け付ける。		

科 目	レファレンスサービス演習	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	下川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	情報サービスの中核となるレファレンスサービスの基礎知識とサービスの実践を学ぶ。 本授業は、情報デザインコースの学修成果(4)に対応する。		
到達目標	具体的レファレンス質問に適切な情報資源を使って回答し、レファレンス記録を作成することができるようになる。		
学修成果の 評価基準	随時課されるレファレンス質問に回答し、授業中に報告する。 回答のための情報資源の選択及び回答が適切かどうか、その経過をレファレンス記録として作成できているかどうかについて評価する。 最終授業終了時の成績評価レポートは、質問に対するレファレンス記録として提出を課す。選択した情報資源、回答結果、調査経過の記録性について評価する。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	オリエンテーション	予習：配布資料読み込み(30分) 復習：振り返り(30分)	
2 .	レファレンスサービスとレファレンスツール	予習：配布資料読み込み(30分) 復習：振り返り(30分)	
3 .	レファレンスツール(参考図書)解説と評価	予習：配布資料読み込み(30分) 復習：振り返り(30分)	
4 .	レファレンスツール(インターネット情報資源)解説と評価	予習：配布資料読み込み(30分) 復習：振り返り(30分)	
5 .	レファレンス記録	予習：配布資料読み込み(30分) 復習：振り返り(30分)	
6 .	レファレンスサービス事例研究(1) 参考図書を使った回答事例	予習：課題作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
7 .	レファレンスサービス事例研究(2) インターネット情報を使った回答事例	予習：課題作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
8 .	レファレンスサービス事例研究(3) インターネット 情報を使った回答事例	予習：課題作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
9 .	レファレンス課題 回答と記録(1) 参考図書を使った質問回答と記録作成	予習：課題作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
10 .	レファレンス課題 回答と記録(2) インターネット情報を使った質問回答と記録作成	予習：課題作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
11 .	レファレンス課題 回答と記録(3) インターネット情報を使った質問回答と記録作成	予習：課題作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
12 .	レファレンス課題 回答と記録(4) インターネット情報を使った質問回答と記録作成	予習：課題作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
13 .	発信型情報サービス	予習：配布資料読み込み(30分) 復習：振り返り(30分)	
14 .	情報サービスに関わる知的財産権	予習：配布資料読み込み(30分) 復習：振り返り(30分)	
15 .	情報リテラシー	予習：配布資料読み込み(30分) 復習：振り返り(30分)	
教科書	作成した資料を配布する		
参考書	『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』2021年福井県立図書館 編著(講談社)、 『れいふあれんず百題断』榎盛 可那子・樋渡 えみ子 編著(日本図書館協会)2020年		
学修成果の 評価方法	受講態度(10%)、課題提出(10%)、レポート(80%) レポートは、レファレンス質問を課し、提出された回答とレファレンス記録を評価する。		
特記すべき 事項	授業終了後レポート提出。 担当者は、司書として市立図書館で実務経験を有する。		
質問・相談等 の 受 付	授業終了後、教室にて行う。		

科 目	情報資源組織演習	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	主題を用いた組織法を学ぶ。情報資源の主題分析により主題を抽出し、件名標目表、日本十進分類法からそれぞれ適切な言葉、分類記号を付与する方法を、演習形式で修得する。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	日本十進分類法や件名標目表を使って、情報資源の主題組織化ができるようになる。 司書として情報資源組織業務を理解する。		
学修成果の 評価基準	定期試験で各類の分類、各区分、分類規定等を総合的に問う。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	主題組織法	予習：情報資源組織論の復習(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
2 .	主題分析	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
3 .	件名標目表	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
4 .	件名付与演習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
5 .	日本十進分類法の構成と展開	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
6 .	形式区分	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
7 .	地理区分・海洋区分	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
8 .	1類(哲学)・2類(歴史)の分類	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
9 .	3類(社会科学)・7類(芸術)の分類	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
10 .	4類(自然科学)・5類(技術)・6類(産業)の分類	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
11 .	言語区分・言語共通区分・文学共通区分	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
12 .	0類(総記)・8類(言語)・9類(文学)の分類	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
13 .	分類規定	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
14 .	主題組織総合演習 1	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
15 .	主題組織総合演習 2	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
教科書	『日本十進分類法』新訂10版 簡易版 もりきよし(日本図書館協会)		
参考書	『情報資源組織論』榎本由希子ほか(学文社)		
学修成果の 評価方法	受講態度(10%)、期末試験(90%)		
特記すべき 事項	司書資格必修		
質問・相談等 の受付	随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.onLine		

科目	図書館情報資源概論	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	図書館において、「資料と利用者を結ぶこと」は重要である。図書館員に求められることは図書館情報資料に関する知識をさらに深めることであり、レファレンスサービスに必要な資料を使いこなせることである。図書館における情報資料全般について学ぶ。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(1)に対応する。		
到達目標	司書に必要な図書館情報資料に関する知識を学び、レファレンスサービスにおいての知識を習得できるようになる。		
学修成果の評価基準	到達目標に明示している、図書館の情報資料、レファレンスサービスに必要な知識の習得を測るために、到達度確認テスト(期末レポート)を実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	図書館情報資源概論について	予習：図書館の情報資料について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
2.	図書館情報資源の種類と特質(1)	予習：図書、逐次刊行物、小冊子を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
3.	図書館情報資源の種類と特質(2)	予習：図書、逐次刊行物、小冊子を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
4.	図書館情報資源の種類と特質(3)	予習：図書、逐次刊行物、小冊子を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
5.	図書館情報資源の収集とコレクション構築(1)	予習：本学図書館にある資料を知る(1)(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
6.	図書館情報資源の収集とコレクション構築(2)	予習：本学図書館にある資料を知る(2)(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
7.	図書館情報資源の収集とコレクション構築(3)	予習：本学図書館にある資料を知る(3)(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
8.	情報資源の生産・流通と図書館(1)	予習：デジタル出版について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
9.	情報資源の生産・流通と図書館(2)	予習：日本の商業出版と流通について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
10.	情報資源の生産・流通と図書館(3)	予習：日本の商業出版と流通について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
11.	図書館資料について(1)	予習：図書館コレクション利用の権利を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
12.	図書館資料について(2)	予習：図書館コレクション利用の権利を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
13.	図書館資料について(3)	予習：蔵書評価法、除籍と廃棄について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
14.	図書館資料について(4)	予習：蔵書点検、書庫管理の意義を考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
15.	まとめ	予習：今までの授業を振り返る(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
教科書	改訂『図書館情報資源概論』現代図書館情報学シリーズ8 岸田和明ほか編(樹村房)		
参考書	なし		
学修成果の評価方法	受講態度(10%)、小テスト(10%)、授業内課題(20%)、定期試験(60%)		
特記すべき事項	担当者は司書として17年の実務経験を有しています。予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業後に授業場所もしくは研究室にて受け付ける。		

科 目	絵本論	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	絵本を通して、その人のありのままの自分を引き出すことを目的とする。お互いの意見を交換しながら心の交流を通して、自分の本当の気持ちや意思を見つめ直し気持ちを前向きにする手法をグループディスカッションを通して学ぶ。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(5)に対応する。		
到達目標	絵本を、同じ人から同じ場所で同じように読み聞かせてもらい、それぞれの受け取り方・感じ方が違うことを学ぶ。人間の内にある思考や感情を省察することで、絵本を自分で読む場合と他人から読んでもらう場合の違いを実体験する。更に、絵本は幼児から高齢者まで幅広い年齢層に語りかける読書であることを絵本セラピーを通して体感できるようになる。		
学修成果の評価基準	授業内での積極的なグループディスカッションを「受講態度」の評価とする。及び、絵本セラピーの実践も評価基準とする。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	絵本とは	予習：絵本について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
2 .	なぜ大人に絵本を読むのか	予習：大人と絵本について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
3 .	絵本セラピーを体験する(1)	予習：大人と絵本について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
4 .	絵本セラピーを体験する(2)	予習：大人と絵本について考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
5 .	絵本セラピーのプログラムについて(1)	予習：多様なジャンルの絵本を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
6 .	絵本セラピーのプログラムについて(2)	予習：多様なジャンルの絵本を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
7 .	絵本力(ストーリー・ことば・絵・絵本を選ぶ力・読み方・表現方法)	予習：多様なジャンルの絵本を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
8 .	絵本の読み聞かせについて	予習：絵本の読み聞かせの練習(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
9 .	絵本セラピーのプログラム作成(絵本の選定)	予習：多様なジャンルの絵本を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
10 .	絵本セラピーのプログラム作成(三部構成)	予習：多様なジャンルの絵本を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
11 .	絵本セラピーの実践(1)	予習：絵本セラピーのプログラムを考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
12 .	絵本セラピーの実践(2)	予習：絵本セラピーのプログラムを考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
13 .	絵本セラピーの実践(3)	予習：絵本セラピーのプログラムを考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
14 .	絵本セラピーの実践(4)	予習：絵本セラピーのプログラムを考える(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
15 .	まとめ	予習：今までの学びを振り返る(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間)	
教科書	なし		
参考書	『絵本はこころの処方箋 大人のための絵本セラピー』岡田達信(瑞雲舎)、『絵本はこころの架け橋』岡田達信(瑞雲舎)		
学修成果の評価方法	受講態度(20%)、授業内課題(20%)、授業内発表(60%)		
特記すべき事項	担当者は絵本セラピストとしての実務経験を有しています。		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業後に授業場所あるいは研究室にて対応する。		

科 目	グラフィックデザイン	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	吉本暢子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	Illustrator と Photoshop の応用操作を習得する。習得した操作方法に基づき冊子を作成する。 グラフィックデザインの基本を習得する。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果（5）に対応する。		
到達目標	Illustrator と Photoshop の特性を理解し適切に使用する（実習）。 デザインに必要なプロセスを習得し Illustrator と Photoshop の技能を高める。 「地域の魅力を伝える」冊子を作成する。		
学修成果の 評価基準	○「知識・理解・技能の評価基準」 基本操作・応用操作の習得。Illustrator と Photoshop でのデザイン制作。グラフィックデザインの基本を習得。 理解度を確認するために「課題：成果物」を評価する。 ○「講義態度の評価基準」 課題や問題を見つけ積極的に解決工夫できる。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	グラフィックデザイン(1) グラフィックデザインとは	予習：生活のあるデザインの収集(30分) 復習：授業内容のまとめ(30分)	
2 .	グラフィックデザイン(2) 視覚表現	予習：生活のあるデザインの収集(30分) 復習：授業内容のまとめ(30分)	
3 .	グラフィックデザイン(3) 視覚表現 写真・イラストレーション・ピクトグラム・書籍など表現の領域	予習：生活のあるデザインの収集(30分) 復習：授業内容のまとめ(30分)	
4 .	グラフィックデザイン(4) グラフィックデザインの展開 印刷技術	予習：生活のあるデザインの収集(30分) 復習：授業内容のまとめ(30分)	
5 .	デザイン(地域の魅力を伝える・書籍)(1) リサーチ・コンセプト制作	予習：地域をリサーチ(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
6 .	デザイン(地域の魅力を伝える・書籍)(2) ブランド 基本	予習：地域をリサーチ(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
7 .	ブランド ロゴ	予習：ロゴデザインの収集(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
8 .	ブランド 名刺	予習：名刺デザインの収集(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
9 .	デザイン(地域の魅力を伝える・書籍)(3) 冊子デザイン ページ物の基本	予習：冊子デザインの収集(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
10 .	冊子デザイン 視覚表現の方向性を決める。ページたて。ラフスケッチを作成。	予習：素材集め(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
11 .	冊子デザイン 素材(写真・イラスト・コピー)を作成。	予習：素材集め(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
12 .	冊子デザイン 素材(写真・イラスト・コピー)を作成。	予習：素材集め(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
13 .	冊子デザイン レイアウト制作。	予習：素材集め(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
14 .	冊子デザイン レイアウト制作。	予習：素材集め(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
15 .	冊子デザイン 入稿データ制作。前期データ提出。	予習：仕上げ(30分) 復習：デザインの顕彰(30分)	
教科書	なし		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	欠席が続けば習得が難しくなります。できるだけ欠席がないように心がけてください。 各授業において予習、復習を必要とします。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	グラフィックデザイン	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	吉本暢子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	Illustrator と Photoshop の応用操作を習得する。習得した操作方法に基づきグッズを制作する。 グラフィックデザインの基本を習得する。 本授業は、情報デザインコースの学習成果（5）に対応する。		
到達目標	Illustrator と Photoshop の特性を理解し適切に使用する（実習）。 デザインに必要なプロセスを習得し Illustrator と Photoshop の技能を高める。 「地域の魅力を伝える」グッズ制作する。		
学修成果の 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識・理解・技能の評価基準」 基本操作・応用操作の習得。IllustratorとPhotoshopでのデザイン制作。グラフィックデザインの基本を習得。 理解度を確認するために「課題：成果物」を評価する。</li> <li>○「講義態度の評価基準」 課題や問題を見つけ積極的に解決工夫できる。</li> </ul>		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	デザイン(地域の魅力を伝える・書籍) (4) パッケージデザイン パッケージの基本	予習：パッケージデザインの収集 (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
2 .	パッケージデザイン 視覚表現の方向性を決める。ラフスケッチを制作。	予習：素材収集 (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
3 .	パッケージデザイン レイアウト制作。	予習：仕上げ (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
4 .	デザイン(地域の魅力を伝える・書籍) (5) ポストカード	予習：ポストカードデザインの収集 (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
5 .	ポストカード	予習：仕上げ (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
6 .	デザイン(地域の魅力を伝える・書籍) (6) カレンダー	予習：カレンダーデザインの収集 (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
7 .	カレンダー	予習：素材収集 (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
8 .	カレンダー	予習：仕上げ (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
9 .	デザイン(地域の魅力を伝える・書籍) (7) グッズ	予習：グッズの収集 (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
10 .	グッズ	予習：素材収集 (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
11 .	グッズ	予習：仕上げ (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
12 .	デザイン(地域の魅力を伝える・書籍) (8) 入稿データ作成。データ提出。	予習：仕上げ (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
13 .	ポートフォリオ 制作	予習：作品集め (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
14 .	ポートフォリオ 制作	予習：作品集め (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
15 .	ポートフォリオ 制作 入稿データ作成。データ提出。	予習：仕上げ (30分) 復習：デザインの顕彰 (30分)	
教科書	なし		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	受講態度 (30%)、授業内課題 (70%)		
特記すべき 事項	欠席が続けば習得が難しくなります。できるだけ欠席がないように心がけてください。 各授業において予習、復習を必要とします。		
質問・相談等 の 受 付			

科目	ウェブディレクション	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	ビジネスモデルを理解し、ビジネスの現場でのweb活用法を学ぶ。 ビジネスモデルキャンパスのフレームワークを習得し、顧客理解と共に、ビジネス構造を理解することでより効果的にwebを活用できるようになることを目指す。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(3)に対応する。		
到達目標	ビジネスにおいて、WEBの活用法を学び、将来的に企業や組織のDX戦略を構築できるスキルを身につける。		
学修成果の評価基準	積極的に取り組む姿勢を「授業態度」の評価とする。 技能の達成度を測るために「最終成果物」において評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	DX化の構造を理解する	予習：シラバスを見ておく(2時間) 復習：教科書を読んでおく(2時間)	
2.	さまざまな業種のビジネスの紹介	予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ビジネス構造を復習する(2時間)	
3.	SDGsをはじめとした社会課題、産業構造の変化を理解、予測する	予習：SDGsを含めた社会課題調査(2時間) 復習：社会課題の整理(2時間)	
4.	ビジネス構造を理解するフレームワークを学習する SWOT分析、PEST分析、3C分析など	予習：フレームワークを調べる2時間 復習：分析を整理(2時間)	
5.	ビジネスモデルキャンパスの紹介	予習：参考図書を読んでおく(2時間) 復習：参考図書にて復習(2時間)	
6.	ビジネスモデルキャンパスワークショップを行う	予習：地域企業を調査(2時間) 復習：ワークショップ法を調べる(2時間)	
7.	ビジネスモデルを活用した課題発見方法を学ぶ	予習：地域企業を調査(2時間) 復習：ビジネスモデル整理(2時間)	
8.	Webを活用した各種サービスの違いを理解する	予習：身近なWEBサービスを調査(2時間) 復習：WEBサービスの特徴整理(2時間)	
9.	Saas等webを活用したサービスに活かされている技術、アイデアを整理する	予習：最新の技術を調査(2時間) 復習：オンライン技術の整理(2時間)	
10.	オンラインを使ったサービスづくりのさまざまな可能性の検討	予習：サービスの特徴を知る(2時間) 復習：サービスづくりの整理(2時間)	
11.	最終課題の発表及び対象企業調査、市場調査 「10年後の未来に向けた企業変革を描く」	予習：10年後の社会を調査(2時間) 復習：指定した課題に取り組む(2時間)	
12.	ビジネスモデルを書いてみる	予習：指定した課題に取り組む(2時間) 復習：指定した課題に取り組む(2時間)	
13.	中間発表・フィードバックの実践	予習：指定した課題に取り組む(2時間) 復習：課題ブラッシュアップをする(2時間)	
14.	プレゼンテーションに向けた準備	予習：指定した課題に取り組む(2時間) 復習：まとめを行う(2時間)	
15.	プレゼンテーション及びまとめ	予習：学びを振り返る(2時間) 復習：まとめを行う(2時間)	
教科書	『DX白書2023』(独立行政法人情報処理推進機構)		
参考書	『ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書』、『バリュー・プロポジション・デザイン 顧客が欲しがる製品やサービスを創る』、『ビジネスモデル2.0図鑑』近藤 哲朗(著)		
学修成果の評価方法	受講態度(50%)、最終成果物(50%)		
特記すべき事項	デザイン企画会社を10年以上経営している。		
質問・相談等の受付	チャットツール(GoogleChat) 随時質問を受け付け可能		

科 目	ウェブデザイン総合実践	開講時期 履修方法	2年前期集中 選択、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	地域の企業課題をヒアリングし、ウェブデザインの企画、サイト制作をチームで行う。 地域企業、組織に5社程度参加してもらい、実際の課題を伝え、学校内だけでなくフィールドワークを伴った地域学習の中で改善提案及び実際にサイトをチームで作成できるようになる。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(6)に対応する。		
到達目標	実際の企業課題を整理し、課題改善に向けた提案及び、サイト構築をチームで行えるようになる。		
学修成果の 評価基準	積極的に取り組む姿勢を「授業態度」の評価とする。 技能の達成度を測るために「最終成果物」において評価する。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	オリエンテーション	予習：シラバスを見ておく(2時間) 復習：参考書等を読んでおく(2時間)	
2 .	グループワーク、グループ開発を知る Gitの使い方を知る	予習：参考書等を読んでおく(2時間) 復習：Gitの整理(2時間)	
3 .	地域企業の現状発表及び意見交換1(2~3社)	予習：企業調査(2時間) 復習：企業課題の整理(2時間)	
4 .	地域企業の現状発表及び意見交換2(2~3社)	予習：企業調査(2時間) 復習：企業課題の整理(2時間)	
5 .	地域企業の現状発表及び意見交換3(2~3社)	予習：企業調査(2時間) 復習：企業課題の整理(2時間)	
6 .	チーム分け及び課題別グループワーク・フィールドワーク	予習：グループワークの議事録確認(2時間) 復習：グループワークの議事録確認(2時間)	
7 .	課題別グループワーク・フィールドワーク	予習：グループワークの議事録確認(2時間) 復習：グループワークの議事録確認(2時間)	
8 .	課題別グループワーク・フィールドワーク・コンセプト立案	予習：グループワークの議事録確認(2時間) 復習：グループワークの議事録確認(2時間)	
9 .	課題の整理及びコンセプト立案	予習：グループワークの議事録確認(2時間) 復習：グループワークの議事録確認(2時間)	
10 .	中間発表・フィードバック	予習：中間発表の整理(2時間) 復習：フィードバックの整理(2時間)	
11 .	課題別グループワーク・サイト構築	予習：指定した課題に取り組む(2時間) 復習：課題ブラッシュアップをする(2時間)	
12 .	課題別グループワーク・サイト構築	予習：指定した課題に取り組む(2時間) 復習：課題ブラッシュアップをする(2時間)	
13 .	最終発表の準備	予習：指定した課題に取り組む(2時間) 復習：課題ブラッシュアップをする(2時間)	
14 .	最終発表の準備	予習：成果発表会準備(2時間) 復習：成果発表会準備(2時間)	
15 .	成果発表会(地域企業参加)	予習：学びを振り返る(2時間) 復習：学びを振り返る(2時間)	
教科書			
参考書	『はじめてでもできる GitとGitHubの教科書』、『いちばんやさしいGit&GitHubの教本 第2版 人気講師が教えるバージョン管理&共有入門(「いちばんやさしい教本」シリーズ)』		
学修成果の 評価方法	受講態度(50%)、最終成果物(50%)		
特記すべき 事項	デザイン企画会社を10年以上経営している。 予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	チャットツール(GoogleChat)随時質問を受け付け可能		

科 目	ウェブプロデュース	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	佐々木信行	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	ウェブ・SNSを企業や個人がビジネス活用する上で必要な基礎知識・戦略を習得することができる。 座学だけでなく、企業や個人のSNSを運用すると仮定してアカウントの設計や投稿作成も行っていく。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(6)に対応する。		
到達目標	ウェブ主にSNS運用に関する考え方を習得し、クライアントと顧客両方の思いに寄り添った発信が意識できるようになる。		
学修成果の 評価基準	積極的に学ぼうとする姿勢と得られた知識をもとに考察する力を中間・最終発表で評価する。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	イントロダクション(インターネットをビジネスに活用する)	予習: シラバスを読む(2時間) 復習: 今回の授業内容の復習(2時間)	
2 .	インターネットビジネスの環境について学ぶ	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 今回の授業内容の復習(2時間)	
3 .	SNSマーケティングについて学ぶ	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 今回の授業内容の復習(2時間)	
4 .	ウェブコンセプト設計実践(顧客情報を把握する)	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 課題の完成・見直し(2時間)	
5 .	ウェブコンセプト設計(市場のリサーチをする)	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 課題の完成・見直し(2時間)	
6 .	ウェブコンセプト設計(ポジションメイクをする)	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 課題の完成・見直し(2時間)	
7 .	ウェブコンセプト設計(商品コンセプトを設計する)	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 中間発表の準備(2時間)	
8 .	中間発表	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 発表の振り返り(2時間)	
9 .	SNS発信の基礎について学ぶ	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 今回の授業内容の復習(2時間)	
10 .	SNS投稿作成の実践(市場のリサーチをする)	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 課題の完成・見直し(2時間)	
11 .	SNS投稿作成の実践(企画立案をする)	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 課題の完成・見直し(2時間)	
12 .	SNS投稿作成の実践(画像撮影収集・文書制作など)	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 課題の完成・見直し(2時間)	
13 .	SNS投稿作成の実践(画像撮影収集・文書制作など)	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 最終発表の準備(2時間)	
14 .	最終発表	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 発表の振り返り(2時間)	
15 .	最終発表	予習: 前回の復習(2時間) 復習: 発表の振り返り(2時間)	
教科書	適宜プリント配布する		
参考書	必要に応じて紹介する		
学修成果の 評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	課題は教室のPCを使用して実施する。		
質問・相談等 の受付	授業内、もしくはその前後に受け付ける。		

科 目	コンテンツ制作	開講時期 履修方法	2年前期 選択、未定
担当者	宇佐川桂吾・宇美拓也	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	Webコンテンツ作成、ウェブサイト、SNS運営を計画、実行できる基礎力を高める。 実際の課題、テーマをリサーチし、課題解決の一手として集客等につながる施策を計画する。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(8)に対応する。		
到達目標	計画に応じた、コンテンツを適切なメディアにて発表するために制作(基礎デッサンなどの課題)を行い、リリースを行うことで、顧客からの反応を受けることができるようになることを目指す。		
学修成果の 評価基準	積極的に取り組む姿勢を「授業態度」の評価とする。 技能の達成度を測るために「中間課題制作」「最終成果物」において評価する。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	オリエンテーション	予習：シラバスを見ておく(30分) 復習：参考書等を読んでおく(30分)	
2 .	コンテンツマーケティングの用語解説	予習：参考書等を読んでおく(30分) 復習：参考書等を読んでおく(30分)	
3 .	デッサンの基礎知識	予習：参考書等を読んでおく(30分) 復習：資料を見直す(30分)	
4 .	練習課題の作成(光と影について)	予習：資料等を見ておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
5 .	練習課題の作成(立体の基本について)	予習：資料等を見ておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
6 .	練習課題の作成(質感の表現について)	予習：資料等を見ておく(30分) 復習：制作物のブラッシュアップ(30分)	
7 .	中間成果発表会 プレゼンテーション	予習：制作物のブラッシュアップ(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
8 .	練習課題の作成(光沢の表現について)	予習：資料等を見ておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
9 .	練習課題の作成(透視法について)	予習：資料等を見ておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
10 .	練習課題の作成(空間表現について)	予習：資料等を見ておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
11 .	練習課題の作成(遠近法について)	予習：資料等を見ておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
12 .	最終課題の作成(上記の練習画題を踏まえ、最終制作物を製作する)	予習：資料等を見ておく(30分) 復習：制作物のブラッシュアップ(30分)	
13 .	最終課題の作成	予習：制作物のブラッシュアップ(30分) 復習：制作物のブラッシュアップ(30分)	
14 .	最終課題のプレゼンテーションの準備	予習：制作物のブラッシュアップ(30分) 復習：制作物のブラッシュアップ(30分)	
15 .	最終課題のプレゼンテーション	予習：制作物のブラッシュアップ(30分) 復習：制作物のブラッシュアップ(30分)	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度(30%)、中間課題制作(20%)、最終成果物(50%)		
特記すべき 事項	デザイン企画会社を10年以上経営している(宇佐川圭吾)。公共施設、主宰教室にて絵画講師を20年以上務めている。美術展、公募展にて入賞歴多数、個展発表も多数(宇美拓哉)。		
質問・相談等 の受付	チャットツール(GoogleChat)随時質問を受け付け可能。		

科 目	コンテンツ制作	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	荒川大地	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<p>パソコンやスマートフォンを用いて各種広報用動画等を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰に何をどのように伝えることが有効かを考える</li> <li>・ターゲットを定義し、情報の伝達手段について考え、成果物を作る。</li> </ul> <p>作成コンテンツ(予定)...筑後の魅力を伝えるPV制作、AND ONE公演(10月公演)、卒業公演のPV制作 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果(8)に対応する。</p>		
到達目標	<p>ターゲットに共感し、求められている情報を有効なコンテンツを活用して届けることができる。 ターゲットに対応する様々なコンテンツを活用することができる。</p>		
学修成果の 評価基準	<p>届けたい情報収集に向け、聞き取りや取材に主体的に関わることができる。 作成したコンテンツの精度を評価する(時間・色使い・印象・クオリティー・工夫・自己評価・外部評価) 本科目は学修成果5に該当する。</p>		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	オリエンテーション・コンテンツとは... グループ分け	予習：コンテンツ事前調査(30分) 復習：振り返り(30分)	
2 .	AND ONE公演 取材・聞き取り・情報整理	予習：AND ONE事前調査(30分) 復習：情報整理(30分)	
3 .	AND ONE公演 情報整理・プレスト・コンテンツ検討	予習：情報整理(30分) 復習：コンテンツ検討(30分)	
4 .	AND ONE公演 コンテンツ制作	予習：情報整理(30分) 復習：コンテンツ再考(30分)	
5 .	AND ONE公演 コンテンツ学生プレゼン (自己評価・他者評価)	予習：資料作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
6 .	筑後市の特産・魅力調査 聞き取り・情報整理	予習：事前調査(30分) 復習：情報整理(30分)	
7 .	筑後市の特産・魅力調査 聞き取り・情報整理	予習：事前調査(30分) 復習：情報整理(30分)	
8 .	情報整理・プレスト・コンテンツ検討	予習：情報整理(30分) 復習：コンテンツ再考(30分)	
9 .	コンテンツ制作	予習：情報整理(30分) 復習：コンテンツ再考(30分)	
10 .	筑後市の特産・魅力 コンテンツ筑後市プレゼン (自己評価・他者評価)	予習：資料作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
11 .	卒業公演 取材・聞き取り・情報整理	予習：事前調査(30分) 復習：情報整理(30分)	
12 .	卒業公演 取材・聞き取り・情報整理	予習：事前調査(30分) 復習：情報整理(30分)	
13 .	情報整理・プレスト・コンテンツ検討	予習：情報整理(30分) 復習：コンテンツ再考(30分)	
14 .	コンテンツ制作	予習：情報整理(30分) 復習：コンテンツ再考(30分)	
15 .	卒業公演 コンテンツ学内プレゼン (自己評価・他者評価)	予習：資料作成(30分) 復習：振り返り(30分)	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	授業への取り組み姿勢(40%)、成果物発表(40%)、自己評価外部評価(20%)		
特記すべき 事項	情報収集のため学外での取材、フィールドワークを含む(移動手段は各自手配)		
質問・相談 の 受 付			

科 目	図書館実習	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	実習 1単位
授業概要	図書館という現場での実務を体験することにより学習してきたことの理解を深める。夏季休暇期間中に約10日間行う実習を中心に、事前の調査・準備・学習、実習後の報告・反省・総括を行い、実務を知り、図書館員のあり方などの自覚を高める。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	実習を無事終わりまで勤め、図書館業務の実際、各自の問題点を把握する。 実習体験をそれまでの学習と結びつける。		
学修成果の 評価基準	実習館による評価 実習記録 実習についてのレポート		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授業時間外学習 予習・復習	
	1. 実習館の調査と選定 2. 自習予定館の訪問と実習の内諾 3. 図書館実習事前指導 1 4. 図書館実習事前指導 2 5. 図書館実習(夏期休暇期間中実質10日間) 6. 反省会 1. 実習館の調査と選定 2. 自習予定館の訪問と実習の内諾 3. 図書館実習事前指導 1 4. 図書館実習事前指導 2 5. 図書館実習(夏期休暇期間中実質10日間) 6. 反省会	『図書館年鑑』等での、実習 予定図書館の調査  服装・身なり・挨拶等の確認  実習内容の確認  実習時の注意確認  実習館での事前打合せ 各図書館の事前課題  レポート作成	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	実習館の評価(50%)、実習記録(20%)、レポート(30%)		
特記すべき 事項			
質問・相談等 の受付			

科 目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年前期 必修、専門科目
担当者	坂川和彦・梅野智美・宇佐川桂吾・荒川大地	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	卒業論文、もしくは卒業制作に向けて、各自テーマを設定し、研究計画を立てる。研究に着手し、できたところまでをレジュメを作成し「卒業研究中間発表会」で発表する。また、就職活動は内定に向けて活動を促す。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	各自のテーマを設定し、研究成果をレジュメにまとめて中間発表を行う。		
学修成果の評価基準	卒業論文や卒業制作について、レジュメを作成し、中間発表を行う。夏季休暇に向けて、卒業研究や就活の計画を立てる。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	春期休暇の反省	予習：春期休暇の振り返り(1時間) 復習：反省と今後の展望(1時間)	
2 .	研究テーマの選定	予習：研究テーマの書案(1時間) 復習：研究テーマの考察(1時間)	
3 .	研究計画の策定	予習：大まかな計画を立てる(1時間) 復習：研究計画確定(1時間)	
4 .	資料収集1 論文	予習：情報検索法の復習(1時間) 復習：参考文献の入手(1時間)	
5 .	資料収集2 図書	予習：情報検索法の復習(1時間) 復習：参考文献の入手(1時間)	
6 .	レジュメのまとめ方	予習：研究動機や目的を考える(1時間) 復習：レジュメ作成(1時間)	
7 .	レジュメ作成1	予習：レジュメの構成(1時間) 復習：レジュメのチェック(1時間)	
8 .	レジュメ作成2	予習：レジュメの内容(1時間) 復習：レジュメのチェック(1時間)	
9 .	レジュメ作成3	予習：レジュメの内容(1時間) 復習：レジュメのチェック(1時間)	
10 .	中間発表のレジュメ第一稿提出	予習：研究を進めレジュメを作る(1時間) 復習：レジュメの修正(1時間)	
11 .	個人別指導	予習：研究を進めレジュメを作る(1時間) 復習：レジュメの修正(1時間)	
12 .	レジュメの完成と発表練習	予習：研究を進めレジュメを作る(1時間) 復習：発表練習(1時間)	
13 .	卒業研究中間発表	予習：発表準備(1時間) 復習：発表の反省(1時間)	
14 .	中間発表の反省	予習：各自の反省をまとめる(1時間) 復習：反省を研究に活かす(1時間)	
15 .	今後の研究計画と夏季休暇の予定	予習：計画立案(1時間) 復習：計画確定(1時間)	
教科書			
参考書			
学修成果の評価方法	レジュメ(40%)、発表(50%)、レポート(10%)		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付	随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		

科目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	坂川和彦・梅野智美・宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	卒業研究 に引き続き、各自の研究テーマに基づき研究を深める。研究結果を12月に行われる情報文化学会で発表し、完成させた卒業論文、卒業研究を提出する。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果（6）に対応する。		
到達目標	卒業研究を行い、成果を卒業研究発表会で発表し、論文にまとめる、もしくは作品を制作する。		
学修成果の評価基準	情報文化学会でレジュメを作成し発表する 完成した卒業研究について口頭試問を行う		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	夏季休暇の反省	予習：成果をまとめる（1時間） 復習：反省と今後の計画立案（1時間）	
2.	研究計画の見直し	予習：研究計画の確認（1時間） 復習：新しい計画の実行（1時間）	
3.	個人別指導1	予習：研究を進める（1時間） 復習：指導を活かす（1時間）	
4.	個人別指導2	予習：研究を進める（1時間） 復習：指導を活かす（1時間）	
5.	個人別指導3	予習：研究を進める（1時間） 復習：指導を活かす（1時間）	
6.	個人別指導4	予習：研究しレジュメにまとめる（1時間） 復習：指導を活かす（1時間）	
7.	個人別指導5	予習：研究しレジュメにまとめる（1時間） 復習：指導を活かす（1時間）	
8.	レジュメ第1稿提出	予習：大まかなレジュメ作成（1時間） 復習：レジュメを修正する（1時間）	
9.	個人別指導6	予習：研究しレジュメにまとめる（1時間） 復習：レジュメを修正する（1時間）	
10.	個人別指導7	予習：研究しレジュメにまとめる（1時間） 復習：レジュメを修正する（1時間）	
11.	レジュメの完成と発表練習	予習：レジュメの完成（1時間） 復習：発表練習（1時間）	
12.	卒業研究発表	予習：発表準備（1時間） 復習：発表の反省（1時間）	
13.	発表の反省と論文の執筆・作品の制作	予習：論文執筆・作品制作（1時間） 復習：完成へ向けての作業（1時間）	
14.	卒業研究の提出	予習：提出形式にまとめる（1時間） 復習：提出後の確認（1時間）	
15.	口頭試問	予習：口頭試問準備（1時間） 復習：指摘されたことの集成（1時間）	
教科書			
参考書			
学修成果の評価方法	情報文化学会での発表（30%）、卒業論文もしくは卒業制作（口頭試問を含む）（70%）		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付	随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		